

ていねやまっていいね

10月23日は 手稲山の日



多くの人たちに親しまれ、愛されている手稲山。10月23日は「手稲山の日」と、平成26年6月に定められました。そこで今回は、手稲山の魅力についておさらいしてみましょう。

山頂

頂上にそびえ立つアンテナ群。テレビやラジオの送信所が立ち並び、道央一円の世帯に電波を送っています。また、山頂眺望スペースには、手稲山の西側に広がる山々の眺望を解説する案内板が設置され、山頂を訪れる登山者たちの目を一層楽しませています。



登山

区内からは手稲山北尾根ルートを利用します。このルートは健脚者向けで、入り口は2つあります。「手稲本町入口」から登ると広大な石狩平野と日本海（写真1）を望むことができます。「金山入口」近くには星置の滝や乙女の滝があります。手稲区では、普段は登ることができない手稲側から山頂までの登山を楽しむことができる年に一度の特別企画「手稲山ウオーキング」（写真2）を7月に実施しています。小さいお子さんや初心者の方でも参加できます。気軽に手稲山に親むことができる、と好評のイベントです。



手稲山の魅力を山の愛好家に聞きました

▼手稲山の自然を愛する区民グループ「やまなみ手稲」の代表濱谷義昭さん

手稲山は、小さい頃から慣れ親しんだ場所。かれこれ50年以上の付き合いです。頂上からの360度のパノラマは絶景。札幌のほか、小樽、石狩の街並みが一望でき、晴れた日には羊蹄山がくっきりと見えます。また、冬の手稲山では、何とも言えない静けさの中、辺り一面真っ白な雪の上をスノーシューを履いて、自由に歩き回れる開放感が最高です。でも、山の中では予測できない状況に遭遇することもあります。安全には十分気を付けて山を楽しんでくださいね。

